

# 第66期 決算のご報告

2021年4月1日から 2022年3月31日まで

エスケー化研株式会社



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。  
ここに第66期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業の概況について  
ご報告申し上げます。

当期は新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及によって経済活動正常化の動きも見られましたが、新たな変異株による感染が急速に拡大したことに加え、世界的な原油価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢、サプライチェーンの停滞などによる資源価格の上昇等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。建築塗料業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による営業の自粛が緩和され、感染症対策も進み、戸建や集合住宅など民間の改装需要が持ち直してきました。一方で、慢性的な人材不足や建築費・人件費の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、「無から有」の企業理念に基づき「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」「環境性向上」「資産価値の向上」をキーワードに建築用仕上塗材・新型化学建材の分野において、新技術・新製品及び新需要の開発に取り組んでまいりました。また、営業面においては超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、高意匠性塗材や耐火断熱材等の拡販に努め、当連結会計年度の売上高は882億82百万円(前連結会計年度は851億74百万円)となり利益面では高付加価値製品の販売拡大と為替変動の影響により経常利益が129億28百万円(前期比17.7%増)となりました。

次年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の継続や、原油価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の影響、金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分留意する必要がある、当面の間は不透明な状況が続くと見込まれます。こうした経済情勢の中、当社グループにおきましては、市場のニーズに対応した技術開発・製品開発を推進し、新築・改修案件に対する確かな提案を行い、市場での信用拡大・業績向上に向けて当社グループ一丸となって努めてまいります。

次期の業績の見通しにつきましては、原材料価格の高騰や為替の変動もあり売上高は910億円(当期比3.1%増)、営業利益97億円(当期比6.8%減)、経常利益108億円(当期比16.5%減)、親会社株主に帰属する当期利益74億円(当期比16.2%減)を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長

藤井 実広





省力化

快適

健康

安全

安心

環境性向上

資産価値の向上

建築用総合塗材国内シェアNo.1

※2021年NSK日本建築仕上材工業会調べ



## 企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及によって経済活動正常化の動きも見られましたが、新たな変異株による感染が急速に拡大したことに加え、世界的な原油価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢、サプライチェーンの停滞などによる資源価格の上昇等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による営業の自粛が緩和され、感染症対策も進み、戸建や集合住宅など民間の改装需要が持ち直してきました。しかし、慢性的な人材不足による現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、建築費・人件費の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、原価の低減と経費削減に努めるとともに、引き続き、新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアール市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は、882億82百万円(前連結会計年度は851億74百万円)となりました。利益面におきましては、経費削減等を行い、営業利益は、104億2百万円(前期比4.6%増)、経常利益は、為替変動の影響等により、129億28百万円(同17.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、88億33百万円(同25.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

### ①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、特にリニューアール市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化した省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行ったことにより、売上高は798億10百万円(前連結会計年度は760億3百万円)と前連結会計年度に比べて38億6百万円の増収となりました。セグメント利益は118億28百万円(前期比7.2%増)と前連結会計年度に比べて7億96百万円の増益となりました。

### ②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、都市部の再開発事業における受注は続いておりますが、その他一部の地域では受注が伸び悩み、売上高は65億31百万円(前連結会計年度は74億93百万円)と前連結会計年度に比べて9億62百万円の減収となりました。セグメント利益は、6億43百万円(前期比7.5%減)と前連結会計年度に比べて51百万円の減益となりました。

### ③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は19億40百万円(前連結会計年度は16億76百万円)と前連結会計年度に比べて2億64百万円の増収となりました。セグメント利益は62百万円(前期比73.2%減)と前連結会計年度に比べて1億71百万円の減益となりました。

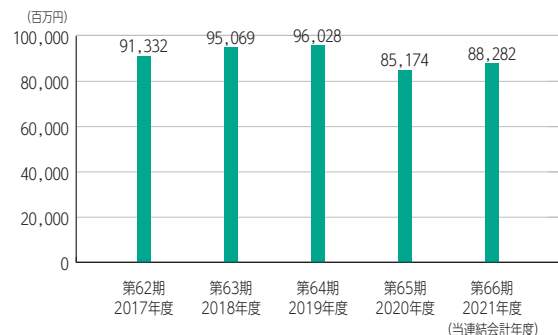
## 企業集団が対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の継続や、原油価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の影響、金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分留意する必要があります。当面の間は不透明な状況が続くと見込まれます。

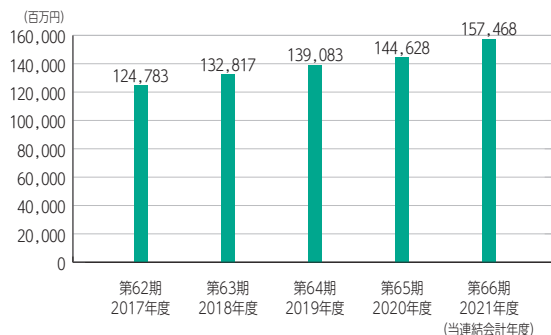
こうした経済情勢の中、建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした再開発の需要が見込まれますが、一方、物流コストや原材料価格の高騰など経営環境へのリスクも多く、依然としてとても厳しい環境が続いております。

このような状況下、当社はプレミアムシリーズなどの高級製品による需要の底上げ、耐火断熱や高耐候性・高意匠性の製品などを提案して既存取引先の深耕と新規開拓を推進して、常に、「無から有」をモットーに、「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」「環境性向上」「資産価値の向上」をキーワードとして、需要開発に努めるとともに、経営理念や社是・社訓に基づいた事業活動を進めております。そして、コーポレートガバナンス体制を重視した社内組織体制の一層の充実を図り、より一段と国内外の新市場の開発に尽力し、持続可能な新技術革新、新製品の開発を通じて会社業績向上に努めてまいります。

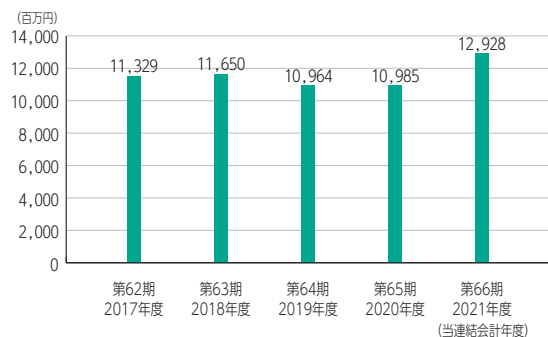
## 売上高



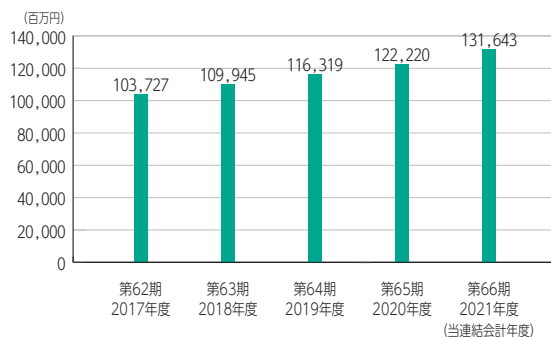
## 総資産



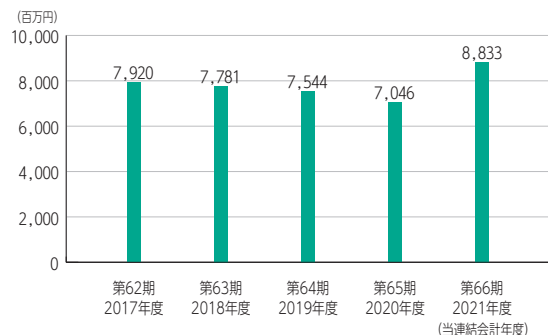
## 経常利益



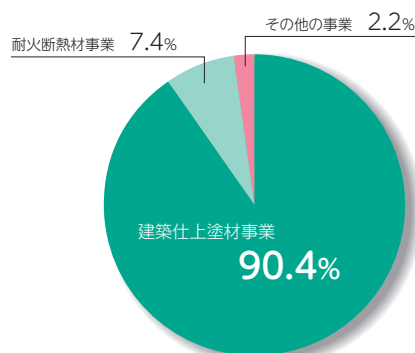
## 純資産



## 当期純利益



## 事業区分別売上高構成比



※ 当期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は44億42百万円減少しております。経常利益、当期純利益については、当該会計基準等を適用したことによる数値の影響はありません。



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>127,604</b>	<b>137,200</b>
現金及び預金	103,383	106,717
受取手形及び売掛金	16,299	16,837
電子記録債権	1,323	2,022
有価証券	-	3,671
商品及び製品	1,728	1,925
仕掛品	932	1,082
未成工事支出金	224	195
原材料及び貯蔵品	3,271	4,054
その他	475	727
貸倒引当金	△ 34	△ 33
<b>固定資産</b>	<b>17,023</b>	<b>20,267</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>12,935</b>	<b>12,884</b>
建物及び構築物	3,810	3,664
機械装置及び運搬具	211	190
土地	8,245	8,213
建設仮勘定	19	13
その他	649	802
<b>無形固定資産</b>	<b>718</b>	<b>751</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,370</b>	<b>6,632</b>
投資有価証券	12	3,017
繰延税金資産	67	64
退職給付に係る資産	1,104	1,338
その他	2,322	2,328
貸倒引当金	△ 136	△ 117
<b>資産合計</b>	<b>144,628</b>	<b>157,468</b>

科 目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>18,927</b>	<b>21,991</b>
支払手形及び買掛金	5,747	7,381
短期借入金	3,000	3,110
未払金	5,259	5,490
未払法人税等	1,820	2,513
賞与引当金	1,388	1,580
役員賞与引当金	71	82
製品保証引当金	97	108
その他	1,540	1,723
<b>固定負債</b>	<b>3,479</b>	<b>3,833</b>
繰延税金負債	66	87
役員退職慰労引当金	1,207	1,232
退職給付に係る負債	148	151
その他	2,057	2,362
<b>負債合計</b>	<b>22,407</b>	<b>25,825</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>122,267</b>	<b>130,021</b>
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	125,985	133,740
自己株式	△ 9,517	△ 9,518
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 47</b>	<b>1,621</b>
その他有価証券評価差額金	0	2
為替換算調整勘定	△ 44	1,579
退職給付に係る調整累計額	△ 3	39
<b>純資産合計</b>	<b>122,220</b>	<b>131,643</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>144,628</b>	<b>157,468</b>

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

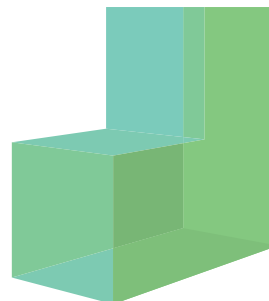
(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで		当連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	
	売上高		85,174	
売上原価		59,131		61,362
売上総利益		26,042		26,919
販売費及び一般管理費		16,099		16,517
営業利益		9,942		10,402
営業外収益				
受取利息	301		211	
受取配当金	0		0	
為替差益	598		2,163	
為替換算調整勘定取崩益	-		23	
その他	177	1,077	163	2,562
営業外費用				
支払利息	25		24	
その他	9	35	12	37
経常利益		10,985		12,928
税金等調整前当期純利益		10,985		12,928
法人税、住民税及び事業税	3,274		4,098	
法人税等調整額	664	3,939	△ 3	4,094
当期純利益		7,046		8,833
非支配株主に帰属する当期純利益		-		-
親会社株主に帰属する当期純利益		7,046		8,833

※1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※2 当期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は44億42百万円減少しております。

営業利益以下の利益については、当該会計基準等を適用したことによる数値の影響はありません。



# 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当連結会計年度期首残高	2,662	3,137	125,985	△ 9,517	122,267	0	△ 44	△ 3	△ 47	122,220
当連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△ 1,078		△ 1,078					△ 1,078
親会社株主に帰属する当期純利益			8,833		8,833					8,833
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の 当連結会計年度変動額（純額）						1	1,623	43	1,668	1,668
当連結会計年度変動額合計	-	-	7,754	△ 0	7,753	1	1,623	43	1,668	9,422
当連結会計年度末残高	2,662	3,137	133,740	△ 9,518	130,021	2	1,579	39	1,621	131,643

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (2021年3月31日現在)	当事業年度 (2022年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>111,997</b>	<b>120,285</b>
現金及び預金	91,093	93,938
受取手形	4,349	3,969
電子記録債権	1,323	2,022
売掛金	10,545	11,144
有価証券	-	3,671
商品及び製品	1,325	1,456
仕掛品	917	1,067
未成工事支出金	224	195
原材料及び貯蔵品	2,007	2,581
その他	447	475
貸倒引当金	△ 238	△ 237
<b>固 定 資 産</b>	<b>21,459</b>	<b>24,468</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>11,228</b>	<b>10,968</b>
建物	2,963	2,811
構築物	193	180
機械及び装置	143	108
車両運搬具	10	10
工具器具及び備品	49	40
土地	7,849	7,803
建設仮勘定	19	13
<b>無形固定資産</b>	<b>89</b>	<b>75</b>
ソフトウェア	72	59
その他	16	15
<b>投資その他の資産</b>	<b>10,141</b>	<b>13,424</b>
投資有価証券	12	3,017
関係会社株式	3,658	3,658
長期貸付金	2,274	2,290
繰延税金資産	1,876	1,892
差入保証金	864	830
その他	2,278	2,489
貸倒引当金	△ 372	△ 299
投資損失引当金	△ 451	△ 454
<b>資 産 合 計</b>	<b>133,457</b>	<b>144,754</b>

科 目	前事業年度 (2021年3月31日現在)	当事業年度 (2022年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流 動 負 債</b>	<b>17,400</b>	<b>20,136</b>
支払手形	1,334	1,515
買掛金	4,061	5,447
短期借入金	3,000	3,000
未払金	4,610	4,677
未払費用	552	758
未払法人税等	1,804	2,491
未払消費税等	428	401
賞与引当金	1,342	1,526
役員賞与引当金	71	82
製品保証引当金	89	101
その他	104	133
<b>固 定 負 債</b>	<b>2,886</b>	<b>3,078</b>
退職給付引当金	101	127
役員退職慰労引当金	1,207	1,232
その他	1,578	1,718
<b>負 債 合 計</b>	<b>20,287</b>	<b>23,214</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株 主 資 本</b>	<b>113,168</b>	<b>121,536</b>
資 本 金	2,662	2,662
資 本 剰 余 金	3,137	3,137
資本準備金	3,137	210
その他資本剰余金	-	2,926
<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>116,886</b>	<b>125,255</b>
利益準備金	455	455
その他利益剰余金	116,431	124,800
固定資産圧縮積立金	15	13
別途積立金	107,050	114,050
繰越利益剰余金	9,366	10,736
<b>自 己 株 式</b>	<b>△ 9,517</b>	<b>△ 9,518</b>
評価・換算差額等	0	2
その他有価証券評価差額金	0	2
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>113,169</b>	<b>121,539</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>133,457</b>	<b>144,754</b>

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 事 業 年 度		当 事 業 年 度	
	2020年4月1日から	2021年3月31日まで	2021年4月1日から	2022年3月31日まで
売 上 高		75,701		77,993
売 上 原 価		53,076		54,189
売 上 総 利 益		22,624		23,804
販売費及び一般管理費		13,536		13,785
営 業 利 益		9,088		10,019
営 業 外 収 益				
受取利息及び配当金	1,621		1,076	
為 替 差 益	628		2,162	
そ の 他	117	2,367	136	3,375
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	9		8	
投資損失引当金繰入額	32		3	
そ の 他	2	43	9	21
経 常 利 益		11,412		13,373
税引前当期純利益		11,412		13,373
法人税、住民税及び事業税	3,058		3,943	
法人税等調整額	27	3,085	△ 16	3,926
当 期 純 利 益		8,327		9,447

※1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※2 当期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。なお、収益認識会計基準等の適用により、当事業年度の売上高は42億29百万円減少しております。

営業利益以下の利益については、当該会計基準等を適用したことによる数値の影響はありません。

# 株主資本等変動計算書

当事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金合計
当 期 首 残 高	2,662	3,137	-	3,137	455	15	107,050	9,366	116,886	△ 9,517	113,168	0	0	113,169
当 期 変 動 額														
固定資産圧縮積立金の取崩						△ 1		1	-		-			-
資本準備金の取崩		△ 2,926	2,926	-							-			-
別途積立金の積立							7,000	△ 7,000	-		-			-
剰余金の配当								△ 1,078	△ 1,078		△ 1,078			△ 1,078
当期純利益								9,447	9,447		9,447			9,447
自己株式の取得										△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）												1	1	1
当 期 変 動 額 合 計	-	△ 2,926	2,926	-	-	△ 1	7,000	1,370	8,368	△ 0	8,367	1	1	8,369
当 期 末 残 高	2,662	210	2,926	3,137	455	13	114,050	10,736	125,255	△ 9,518	121,536	2	2	121,539

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

国内実績



© Kawasumi-Kobayashi Kenji Photograph Office

TOKYO TORCH 常盤橋タワー 東京都  
セラタイカ2号、セラミライトエゴ



© Forward Stroke inc.

人形町PREX 東京都  
SKタイカコート、  
SKタイカシート、  
セラタイカ2号



シエリア天満橋 大阪府  
グラニクQueenローラー



ザ ロイヤルパーク キャンパス  
札幌大通公園 札幌市  
ファインFR工法EX、  
ファインモルタル



工場建屋 兵庫県  
弾性スーパーセラタイトF



アイランドシティ 照葉・ザ・タワー 福岡市  
レナフレンドローラー、セラミクリーン、他



北海道議会庁舎 札幌市  
グラニクQueen



工場建屋 兵庫県  
エスケーププレミアム無機



兵庫県立こどもの館 姫路市  
セラミRC-FR工法

に採用され、それぞれの国の建築文化の向上に大きく貢献しています。

## ■ 海外実績



深圳汕尾特別開発区 中国  
グラノスターネオ、  
ビューティーナノクリヤー



鼎観世界紅堡 中国  
ベルアートリシン



温州洞頭海悦城二期 中国  
グラニパレス



山谷コンサートホール 中国  
セラミクリートSI



OMA by the sea condominium 香港  
ウッディスマイル、グラニパレス、ベルアートHT



TRINITY TOWER インドネシア  
CTタイル、バイオファイン、  
アーキフロアSLE 1M



Waku Ghin restaurant シンガポール  
サンドエレガント



三井ショッピングパーク  
ららぽーとクアラルンプール マレーシア  
ベルアート、アーキフロアUT、  
ビニルマット、アクリスターシールド



TERMINAL21 RAMA3 Shopping mall タイ  
サンドエレガント、グラニパレス、ベルアート



Nue Noble Chaengwattana condominium  
タイ  
グラニクイーン、バイオファイン、  
インターコート



- ホームページでは新着情報、製品情報、実績掲載、IR情報明示など、より快適にご活用いただけるよう改訂を進めました。

IR情報を帯メニューに設置、IRニュース、決算のご報告、決算短信などを随時掲載しました。

※株主優待制度の新設も決定しました。



- 1 INFORMATION 新着情報
- 2 PICKUP 製品ピックアップ
- 3 CASE STUDY 製品採用事例／実績情報
- 4 PRODUCT 製品情報
- 5 製品リスト (50音順)
- 6 FEATURE 特集サイト
- 7 特集サイト新設・改訂
- 8 カラーシミュレーションページの充実



- 前期には、ライフサイクルに考慮した高耐候・高耐久製品エスケープレミアムシリーズをさらに充実しました。後期には、高意匠製品では、サンドエレガントマルチやグラニクイーンクールなど、活用範囲を広げる製品も新開発しました。

代表的な  
新製品紹介

5月

エスケープレミアム無機



7月

エスケープレミアムTASAI工法



7月

エスケープレミアムシリコン BIO



8月

一液プレミアムルーフシリコン



11月

サンドエレガントマルチ



12月

グラニクイーンクール



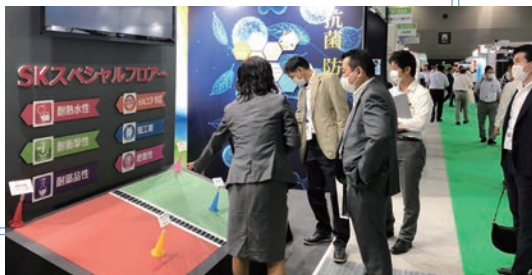
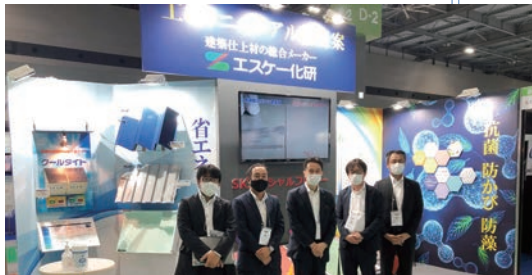
第66期前半は、エスケープレミアムシリーズを充実。後半には、高意匠 NFD 製品のラインアップを充実しました。

# 未来へつながる新型製品を提供し続けます。

- 対面式の展示会としては、6月 国際食品工業展 Fooma Japan 2021、3月 店舗総合見本市 Japan Shop 2022 に出展し、多くの方に直接製品の紹介をさせていただきました。

## 6月

国際食品工業展「FOOMA JAPAN 2021」  
食品工場のリニューアルに特化した  
製品・工法を出展しました。



## 3月

店舗総合見本市「JAPAN SHOP 2022」  
店舗向けに高意匠 NFD 製品を出展しました。



- 第 65 期の東京芝浜の看板の改修（LED 照明への変更）に続き、第 66 期は、名古屋看板を移設の上、LED 照明にしました。

## 3月

名古屋看板移設  
名古屋駅周辺再開発に伴い、外堀通りと  
新幹線の交差する立地に新看板を設置しました。



# 会社概要 (2022年3月31日現在)

設 立 1958年4月17日

資 本 金 26億62百万円  
連 結 純 資 産 1,316億43百万円

企 業 集 団 の 従 業 員 数 2,184名 (臨時従業員を除く)

事 業 内 容

- 建築仕上塗材事業  
有機無機水系塗材、合成樹脂塗料、無機質系塗材、高級内装装飾材、  
高意匠性内外シート建材、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
- 耐火断熱材事業  
断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負
- その他の事業  
各種化成品の製造販売

## ■ 役 員 (2022年6月30日現在)

代表取締役会長	藤 井 實	取 締 役	片 岡 秀 人
代表取締役社長	藤 井 実 広	取 締 役	長 塚 孝 史
専務取締役	坂 本 雅 英	取 締 役	竹 原 道 幸
取 締 役	藤 井 訓 広	常 勤 監 査 役	本 電 坦 道
取 締 役	福 岡 透 二	監 査 役	濱 名 正 二
取 締 役	伊 藤 義 之	監 査 役	尾 崎 賢
取 締 役	竹 内 正 博		

## ■ 主要な関係会社

SKK (S) PTE.LTD. (シンガポール)  
SKK (HK) CO.,LTD. (香港)  
H.K.SHIKOKU CO.,LTD. (香港)  
SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD. (上海)  
SK KAKEN (M) SDN.BHD. (マレーシア)  
SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SK COATINGS SDN.BHD. (マレーシア)  
SK KAKEN (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)  
SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)  
PT SKK KAKEN INDONESIA (インドネシア)  
PT SKK KAKEN KONSTRUKSI (インドネシア)  
PT SKK KAKEN DISTRIBUSI (インドネシア)



本社



SKKグローバルセンター



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.  
／上海営業所



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.  
／北京分公司



SKK (HK) CO.,LTD.



第一技術研究所



第二技術研究所



## 国内主要事業所 (2022年6月30日現在)

本事業本部	社	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
国際事業本部	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
東京支社	支店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
札幌支店	支店	〒065-0042	北海道札幌市東区本町二条10-2-39
仙台支店	支店	〒983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野1-5-12
東京支店	支店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
千葉支店	支店	〒263-0003	千葉県千葉市稲毛区小深町122-1
埼玉支店	支店	〒337-0051	埼玉県さいたま市見沼区東大宮6-30-48
横浜支店	支店	〒244-0801	神奈川県横浜市戸塚区品濃町549-2
北陸支店	支店	〒920-8203	石川県金沢市鞍月3-34
名古屋支店	支店	〒451-0044	愛知県名古屋市中区西区菊井2-14-19
京都支店	支店	〒612-8415	京都府京都市伏見区竹田中島町263
大阪支店	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-31
神戸支店	支店	〒652-0807	兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5-1
広島支店	支店	〒731-5161	広島県広島市佐伯区五日市港2-1-5
高松支店	支店	〒761-8073	香川県高松市太田下町2585-3
福岡支店	支店	〒813-0062	福岡県福岡市東区松島5-6-16
大根工場	工場	〒303-0044	茨城県常総市菅生町57-1
埼玉工場	工場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-6
神奈川工場	工場	〒252-0012	神奈川県座間市広野台2-3-30
名古屋工場	工場	〒475-0032	愛知県半田市潮干町1-2
大阪工場	工場	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-5
兵庫工場	工場	〒679-0221	兵庫県加東市河高355-40
九州工場	工場	〒820-0609	福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26
第一技術研究所	研究所	〒567-0059	大阪府茨木市清水1-25-10
第二技術研究所	研究所	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-1
SKKグローバルセンター	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-12-2



大根工場



埼玉工場



神奈川工場



名古屋工場



九州工場



大阪工場



兵庫工場



PT SKK KAKEN INDONESIA



SKK (S) PTE.LTD.



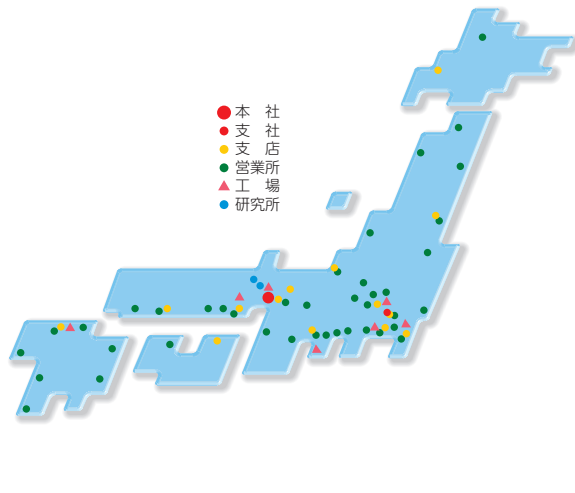
SKK CHEMICAL (M) SDN. BHD.



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.



SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.





## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない理由により電子公告ができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<https://www.sk-kaken.co.jp/>